

校長室だより **春日** (しゅんじつ)

校長 清武 直人

二分の一成人式

「誰かに会いたくて」
 「誰かに会うために」
 「生まれてきた」

4年生の二分の一成人式です。

「お母さん私を産んでくれてありがとう」
 「お父さん、こんなに大きくなったよ」

幼い頃の思い出、今日に至るまでの様々なチャレンジ、そして感謝へと子どもたちのメッセージが続きます。

二分の一成人式は、今まで当たり前と思っていたその一つ一つのことが、とてもかけがえのないものであったことに気づかせてくれます。

そして、子どもたちは、自分の夢を語ります。デザイナー、漫画家、スポーツ選手、消防士、警察官、保育士……

子どもたちが熱く語る夢、その一つ一つが人の喜びに繋がっているのです。なんて素晴らしい夢の描き方でしょう。

春日小学校では、10才になる4年生で二分の一成人式を行います。そして、春日中学校に上がると、14才になる中学2年生で立志式を行います。この時もまた、14才の夢を語ります。

夢は変わるかもしれませんが、変わらずに持ち続ける子もいるかもしれません。大切なことは、夢は、自分の生きがい、そして、人の喜びに繋がっていることだろうと思います。



♪♪
 ママ私をはじめて抱く気持ちは
 どうだった？
 パパ私が生まれた日は嬉しかった？
 ……
 生きてこそ 生きてこそ
 無限に羽ばたいていく夢 ♪♪

子どもたちの歌声を聞きながら、我が子が生まれた日のことを思い出していました。

「最高に幸せな日だった！」

**過信**

「もう一歩前に」
 男子トイレによく見られる張り紙です。しかしながら、張り紙もむなしく、便器の周りが汚れているのをしばしば目にします。私も共犯者です。
 己を過信するがために人の忠告を聞かず、結果として他人様に迷惑をかけることになっています。

子曰、
 吾十有五にして学に志す。
 三十にして立つ。
 四十にして惑はず。
 五十にして天命を知る。
 六十にして耳順（したが）ふ。
 七十にして心の欲する所に従へども、
 矩（のり）を踰（こ）えず。

<論語>

ただ今60才。二分の一成人式を迎えた子どもたちの6倍もの人生を送ってきましたが、まだ「耳順わず」。他人様の声に耳を傾けることのできる謙虚さを持ったよき大人になるための道のりはなんと長いことか。

お礼

土曜日の授業参観、そして、成果報告会、地域集会とたくさんの方の保護者の方、地域の方にご参加頂き、心よりお礼申し上げます。

あれだけ保護者が集まる力を持った学校は、そう多くはありません。28年度のPTA総会にもあれくらい参加者がいるとすごいです。

私はいませんが……。 (ToT)

